

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第30週)

宮城県【平成26年07月31日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2014.7.21 ~ 7.27 ・ 第30週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)				今週の全数報告疾病
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第27週	第28週	第29週	第30週		
水痘	7 1.40	3 0.30	6 1.20		3 1.00	2 0.40	2 1.00	11 0.42	34 0.59	1,286	○→	レ→	→	○	1類感染症:報告なし 2類感染症:結核 *男児、女児は6歳未満	
流行性耳下腺炎		2 0.20		1 0.50	2 0.67			9 0.35	14 0.24	395	→	→	○→	レ		
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	25 5.00	13 1.30	6 1.20	14 7.00	14 4.67	16 3.20		67 2.58	155 2.67	13,557	◎→	◎→	◎→	◎	3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症(O26) 塩釜管内 男性1名	
手足口病		3 0.30						10 0.38	13 0.22	122	→	→	→			
伝染性紅斑	6 1.20	15 1.50	7 1.40	3 1.50	10 3.33	15 3.00		26 1.00	82 1.41	1,581	◎→	◎→	◎→	◎	4類感染症:レジオネラ症 塩釜管内 男性1名	
突発性発しん	2 0.40	10 1.00	3 0.60		3 1.00	4 0.80		15 0.58	37 0.64	1,134	◎→	◎→	○→	○		
ヘルパンギーナ	9 1.80	10 1.00	3 0.60	35 17.50	14 4.67	4 0.80		27 1.04	102 1.76	253	→	○→	○→	◎	5類感染症:後天性免疫不全症候群 仙台管内 男性1名 風しん 仙台管内 女性1名	
インフルエンザ											→	→	→			
咽頭結膜熱	1 0.20	3 0.30	1 0.20	2 1.00				4 0.15	11 0.19	447	○→	レ→	○→	レ	今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例	
流行性角結膜炎		1 0.33						2 0.33	3 0.25	88	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 1.80	11 1.10	6 1.20	2 1.00	2 0.67	28 5.60		25 0.96	83 1.43	3,962	◎→	◎→	◎→	◎	今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 — 【伝染性紅斑】 仙南、大崎、栗原、登米、石巻管内で警報継続中。 【ヘルパンギーナ】 栗原管内で警報継続中。	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎				2 2.00	1 1.00			1 1.00	5 0.42	259	→	→	→			
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症								8 0.31	8 0.14	367	→	→	→			
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	6					1	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向							
	川崎病															
	不明発疹症							14								
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									52						

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2014年 第28週		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	1
第29週		0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
第30週		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

## インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第28週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.34)、鹿児島県(0.10)、岩手県(0.09)、岐阜県(0.09)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は6例と前週と比較して増加し、5都道府県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は282例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。栃木県(1.58)、長野県(1.56)、北海道(1.55)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は第23週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。島根県(3.57)、鳥取県(3.07)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は第22週以降減少が続いている。大分県(8.67)、宮崎県(7.06)、愛媛県(6.54)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。愛媛県(1.65)、福井県(1.59)、鹿児島県(1.51)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。宮崎県(3.94)、福岡県(3.93)、大分県(3.44)が多い。**百日咳:** 定点当たり報告数は減少した。大分県(0.25)、山形県(0.17)、鳥取県(0.16)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。鳥取県(8.00)、東京都(7.13)、大阪府(7.04)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。富山県(1.20)、沖縄県(1.00)、高知県(0.88)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。15道府県から30例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1~4歳(18例)、5~9歳(7例)、10代(1例)、70歳以上(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字:定点当たり報告数

今週の全数報告疾病	
1類感染症:報告なし	*男児、女児は6歳未満
2類感染症:結核	
3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症(O26)	仙南管内 男性1名 石巻管内 女性1名(29週) 仙台管内 男性1名、女性3名
4類感染症:レジオネラ症	塩釜管内 男性1名
5類感染症:後天性免疫不全症候群	仙台管内 男性1名
	風しん
	仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】  
仙南、大崎、栗原、登米、石巻管内で警報継続中。  
【ヘルパンギーナ】  
栗原管内で警報継続中。

## 【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

感染性胃腸炎患者より  
塩釜管内 第28週採取分 アデノウイルス41型 1件  
腸管出血性大腸菌感染症患者より  
塩釜管内のO26関連 第30週採取分 O26 1件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	第28週採取分 (7.7~7.13)	第29週採取分 (7.14~7.20)	第30週採取分 (7.21~7.27)
バラインフルエンザウイルス1型	0件	2件	0件
バラインフルエンザウイルス3型	3件	2件	0件
ヒトメタニューモウイルス	5件	3件	0件
RSウイルス	1件	0件	1件
アデノウイルス	0件	1件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	0件

【風しん抗体検査について】

県では、風しん抗体価の低い方へのワクチン接種の促進を図り、先天性風しん症候群の発生を防止するために、妊娠を希望する19~49歳の女性や、風しん抗体価が低い妊婦の同居者などを対象に7月から県内の医療機関において無料で実施しています。

詳しくは、宮城県 保健福祉部 疾病・感染症対策室 HPへ

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/fushin.html>